



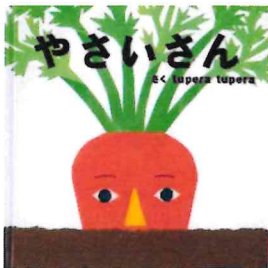
浦臼町子育て支援センターだより すくすく

令和7年10月1日

すっかり朝夕寒くなり、夏の暑さが恋しい季節になっています。10月にはハロウィンがあります。こども園の子ども達は仮装をしたり、お菓子をもらったりするのが楽しみなようです！支援センターでもハロウィンに向けてお菓子入れを作ります。当日はお菓子をもらえるような行事を考えています。お楽しみに！



今月のおすすめ絵本はこちら！



土の中から葉っぱがによき！
埋まっている野菜は何か？
仕掛け絵本になっているので、誰かな？と想像しながらめくってみてください！！



とっとこ とっとこ…きのこのこは、どこにいくのかな？
いろいろな道を通ってたどり着いた先は！？カラフルな色使いの絵もかわいいですよ！

お問い合わせ先
子育て支援センターなかよし
0125-74-4890

ハロウィンに参加される方は、16日(木)までにお申し込みください。

旭川市立大学より講師の先生を招いて、リトミックで親子仲良くふれあい遊びを行います♪

【時間】10:00～10:45

【場所】こども園ホール

※参加される方は24日(金)までにお申し込みください。

※動きやすい服装・運動靴でお越しください。

10月の行事予定

9日(木)園行事の為お休み

14日(火)園行事の為お休み

20日(月)～23日(木)

ハロウィンお菓子入れ作り

24日(金)ハロウィン・読み聞かせ

31日(金)子育て講座

11月の行事予定

19日(水)読み聞かせ

【教育目標】 ○つよい子ども ○考える子ども ○明るい子ども ○働く子ども

【校訓】 かしこく（知） やさしく（徳） たくましく（体）



浦臼小だより

令和7年9月30日（火）発行 第7号

浦臼町立浦臼小学校 校長 松田 麻子

〒061-0600 浦臼町字ウラウシナイ183番地の4

TEL 68-2163

実りの秋 一人一人の成長と挑戦に期待します

校長 松田 麻子

澄んだ空に秋の雲が映える季節となりました。朝夕の風の涼しさに、子どもたちの表情にも夏とは違う落ち着きが見られるようになってきました。秋といえば「芸術の秋」。本校でも芸術鑑賞教室や王子江先生の水墨画教室を行ったり、学習発表会に向けた取組が始まり、音楽や図工、体育の授業等、様々な時間における表現活動を通して、子どもたちが自分の感性をのびのびと表現し、友だちの作品や演奏を味わい合う姿が見られます。表現活動を通じて互いの思いや個性を認め合う経験は、子どもたちの心を豊かにし、人とのつながりを深めていく大切な学びとなっています。

2学期は、学習の内容も一段と深まっていく時期です。これまでに学んだことを基盤にして理解を広げ、自分の考えを言葉にし、仲間と伝え合いながら学びを確かなものにしていくことが求められます。今回の学校だよりには別紙として、今年度実施した6年生の全国学力・学習状況調査の結果もつけてあります。本校児童の特色の1つとして参考にし、より、子どもたち一人一人が授業の中で主体的に取り組み、互いに学び合う中で、思考の幅が広がる授業づくりを行っていきたいと考えております。

さらに今月は、前期の学習や生活を振り返る「あゆみ」の配布があります（本日配布いたします）。自分の成長や努力を振り返り、次の目標を考える大切な節目です。これまでの頑張りを自信にしながら、「次はこんなことに挑戦してみよう」と、新しい自分にチャレンジするきっかけにしてほしいと思います。失敗を恐れず、挑戦する心を大切にすることが、子どもたちの未来につながっていきます。ぜひ、ご家庭におきまして、前期を振り返り、お子様と後期にチャレンジしたいことなど話し合ってくださいと幸いです。

〈1年:にわとりと学ぶ〉

そして、10月には学習発表会を予定しています。これまでの学びをもとに、クラスや学年で協力しながら一つの舞台をつくり上げていく過程は、子どもたちにとって大きな挑戦であり、成長の場となります。自分の役割を果たす責任感や、仲間と力を合わせる喜びを感じながら、子どもたちが自分の力を精一杯発揮してくれることを願っています。保護者の皆様、地域の皆様には、これからも子どもたち一人一人の歩みを温かく見守り、ご支援くださいますよう心よりお願い申し上げます。



9/11 芸術鑑賞教室～楽器演奏会～

エゾンミュージックさんという団体が来校し、和太鼓や津軽三味線、サクスの演奏やジャグリング等を行いました。子どもたちにもなじみのある音楽を演奏したり、実際に楽器を触って体験できる機会を設けてくれました。三味線や様々な大きさの太鼓に子どもたちも興味深く触ったり、はじいたり、たたいたり、楽しそうに体験を行っていました。



王子江先生の水墨画教室！

17日（水）、浦臼町と縁のある水墨画家・王子江先生が来校し、水墨画教室を開催しました。小学生や中学生だけでなく、地域の皆様も参加し、世代を超えて水墨画の魅力を味わうことができました。先生の筆づかいを間近で拝見しながら、墨の濃淡やかすれを生かした表現に挑戦しました。初めて筆をとった子どもたちも、先生の丁寧なご指導のおかげで、のびのびと自分なりの作品を仕上げることができました。当日は、最初に王先生が馬車の作品を1枚描きましたが、参加者一同、その迫力と繊細さに心を打たれました。水墨画を通じて、芸術に親しむひとときとなり、地域に笑顔と感動が広がる素晴らしい時間となりました。



開校30周年記念学習発表会について

発表は低中高学年ブロック毎となっております。

☆日にち 10月18日（土）＊20日（月）振替休業
 ☆時間 1・2年生 9：00～
 3・4年生 9：55～
 5・6年生 10：45～

・詳細はあらためて学校からご案内いたしますので、そら
 らでご確認をお願いいたします。

開校30周年記念式典・記念公演会「落語」について

□日時 令和7年11月14日（金）
 □場所 浦臼小学校体育館
 □日程 式典 13:30～14:25
 落語公演 14:50～15:50（予定）
 （笑生十八番氏 米食亭七星氏〈本校卒業生〉）
 スクールバス 16:15（予定）

詳細については、後日改めてお知らせいたします。落
 語公演に参加ご希望の方は学校（教頭：68－2163）ま
 でお問い合わせ願います（10月上旬、全戸に案内配布予定）。

【11月引き渡し訓練】

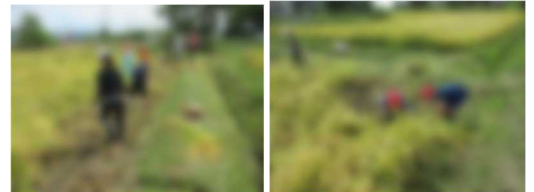
☆日時 11月17日（月）14：25集合
 ☆当日の流れ ① RAKUMEで訓練の案内
 ※お迎えに来る人のお名前をお知らせください。
 ②14：30～ お迎え開始

☆お願い

- 全家庭、お迎えをお願いします。
- お迎えに来られた方の並び方、車の進行については、
 9月5日発出の文書をご確認願います。

お米の収穫 ～今年もたくさんとれました～

3・4年生が5月に田植え体験を行いました。そ
 の稲が収穫の時期を迎え、4日（木）に収穫を行いま
 した。おそろおそろ田に入って田植えをしてからあ
 っという間だったような気がします。稲は立派に
 成長し、3・4年生が喜んで、刈っては脱穀機へ運ん
 でいました。今後、そのお米を調理し、味わう体験も
 行う予定
 です。



情報モラル教室を開催しました

9月10日（水）と12日（金）に、日頃から校務用・
 児童用端末の保守点検を行っている富士電機の ICT 支
 援員を講師に、全学年で情報モラル教室を行いました。
 低学年では主に利用の際のルールについて、高学年では
 SNS の危険性やトラブル等について学び、どの学年の
 子どもたちも真剣に学び、自分の生活をふり振り返りなが
 ら、より安全に ICT を活用する意識を
 高めていました。今後もご家庭と協力し
 ながら、子どもたちの健全な情報活用を
 支えていきたいと考えています。



10月の行事予定

1日（水）	学習発表会特別日課（～18日）
2日（木）	避難訓練 スタサポ高 開校 30 周年第 2 回実行委員会
3日（金）	スタサポ低
8日（水）	フッ化物洗口⑩ ICT 支援員
9日（木）	スタサポ高
10日（金）	スタサポ低 自転車通学終了
14日（火）	写生会作品展（～24日）
15日（水）	学習発表会総練習
16日（木）	スタサポ高
17日（金）	学習発表会前日準備
18日（土）	開校 30 周年記念学習発表会
20日（月）	振替休業
21日（火）	学習発表会后片付け
22日（水）	フッ化物洗口⑪
23日（木）	スタサポ高
24日（金）	スタサポ低 田村 SSW 来校 ICT 支援員
27日（月）	委員会③
28日（火）	代表委員会⑨ 発育測定（高）英語ふれあい教室
29日（水）	発育測定（低）スタサポ高
30日（木）	スタサポ低 学校運営協議会③
31日（金）	1日防災学校（午前）スタサポ低

〈3・4年いなずま太鼓〉
 1日（水）10日（金）

<学習めあて> 姿勢を正しくしよう

<生活めあて> 遊び道具や掃除道具をきちんと片付けよう

<保体めあて> 目を大切にしよう

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準維持の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、その結果を指導の改善に生かすため、毎年全国の小学校で第6学年児童（中学校は第3学年生徒）を対象に実施されています。今年度は4月17日に国語・算数・理科の3教科と4月24日に生活習慣や学習環境等に関わる質問調査が行われました。本校でも今年度の結果分析とこれまでの本校の傾向をふまえ、より一層の授業改善と生活習慣・学習習慣に関わる指導や保護者の皆様への情報提供に努めて参ります。

1 教科に関する調査

教科	全国	全道	本校の状況
国語	66.8	65.0	全国と同程度(下位)・全道と同程度
算数	58.0	55.0	全国をやや下回る・全道と同程度
理科	57.1	56.0	全国を下回る・全道をやや下回る

数値は平均正答率

★全国・全道の平均正答率に対し…

- ・「同程度」・・・±1%未満
- ・「同程度(上位・下位)」・・・±1%～±3%未満
- ・「やや上回る・やや下回る」・・・±3%～±5%未満
- ・「上回る・下回る」・・・±5%以上

全国を100としてグラフ化

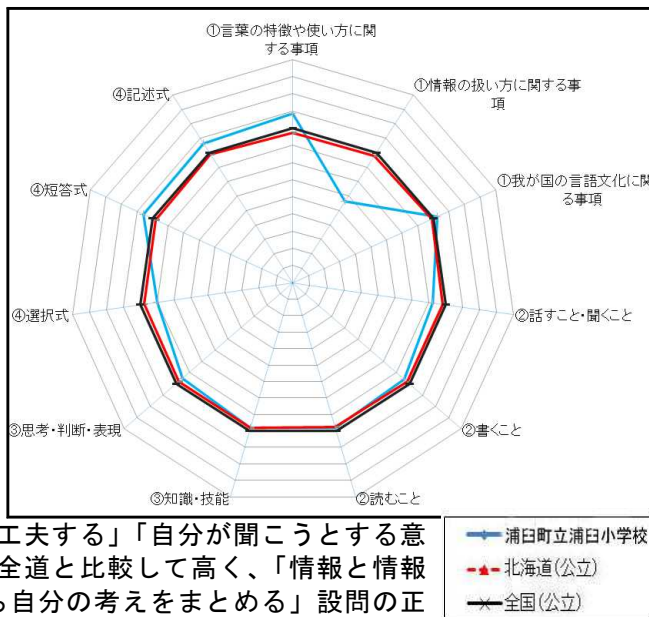
国語

内容別の知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で全国・全道を上回ったが、「情報の扱い方に関する事項」では全国・全道を大きく下回り、正答率で全国とは22%、全道とは20.1%の差となっています。情報の扱い方が本学年の大きな課題です。

観点別では知識・技能、思考・判断・表現ともに全国・全道を下回っているが、正答率の差は3%以内であり、ほぼ同程度といえます。

問題形式では「短答式」「記述式」の正答率で全国・全道を上回り、粘り強く考えて解答していることがうかがえます。一方で、「短答式」「記述式」が正答率が高く、「選択式」の正答率が低いことから、自分の解答に自信が持てず、他の選択肢に惑わされてしまうことがあると予想されます。

設問別では「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える」設問の正答率が全国・全道と比較して高く、「情報と情報の関係付けを理解し使う」「話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる」設問の正答率が低くなっています。情報や図表の活用は課題があり、資料の活用や見比べなど情報活用能力の育成に工夫が必要と考えられます。



全国・全道と比較して課題のある設問。インタビューの様子を読んで、小森さんが下線部イのように発言した理由を選ぶもの。正答は3で正答率58.3%。誤答としては2を選択した児童が33.3%、4を選択した児童が8.3%。

下線部イよりも前の文章で小森さんが「安全に運転することは大事」と理解していること、「安全」のために小森さんが「思っていたよりも」様々なことが行われていることを聞いての発言であることで「自分の考えを深めた」となるが、前の文章をしっかりと読み取れていないことが考えられます。

- (2) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、部イのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。
 - 2 自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。
 - 3 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。
 - 4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

三 小森さんたちは、バスの運転士の同様にインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

「インタビューの様子の一部」

小森さん 小森さんたちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、同さんの仕事についてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

同さん どうぞよろしくお願ひします。

小森さん はじめに、バスの運転士として同さんが大切にしていることを教えてください。

同さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことですね。ア 安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

同さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわてず、大きな事故につながるかならないので、落ついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん えっ、そうなんですか。運転士のほかになんかいるのですか。

同さん そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思っていましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

5 (インタビューが続く)

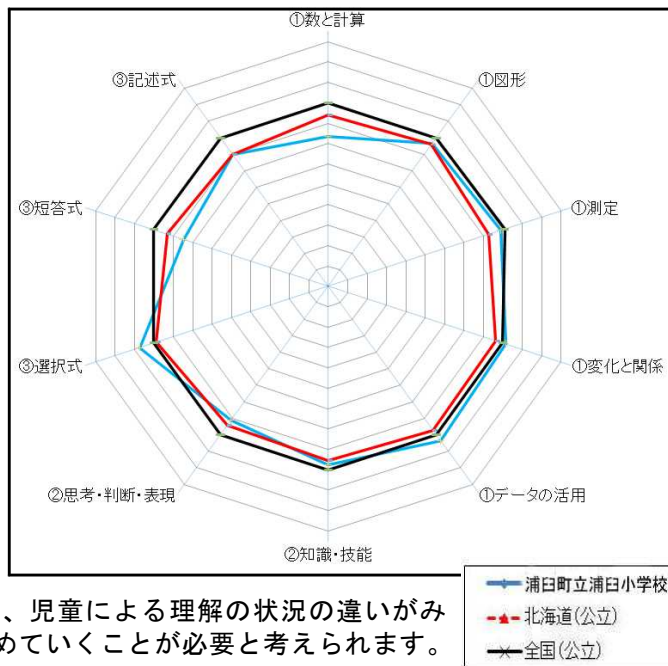
算数

領域別では「変化と関係」「データの活用」で全国・全道を上回り、「図形」「測定」で全道を上回りました。

観点別では「知識・技能」で全道を上回り、「思考・判断・表現」で全国・全道を下回ったが、いずれもほぼ同程度といえます。

問題形式では「選択式」で全国・全道を上回ったが、「短答式」では正答率で全国を9.8%下回りました。

設問別では「グラフの読み取り」「表からの選択」「台形の性質」「はかりの目盛りを読む」「10%増量の意味」で全国・全道を上回ったが、「分数」「少数」「必要な情報の選択」「平行四辺形の性質」「数量の関係」で全国・全道を下回りました。特に分数については全国的に正答率が低い中ではありますが、正答率8.3%と低くなっています。分数・少数の計算、情報の活用、比較に課題があると考えられます。また、S-P表により、その児童にとって正答が容易であったと考えられる設問での誤答が多くみられ（国語も同様）、定着の不十分さと、児童による理解の状況の違いがみられます。児童一人一人の定着状況に合わせた学習を進めていくことが必要と考えられます。



(4) 指定野菜について調べていたあいりさんたちは、1人が1日に食べる野菜の量の目標は350gと知り、下の資料を見つけました。

70gってどれくらい？
それぞれの野菜の70gの目安

 きゅうり 1本分で70g	 オクラ 8本分で70g	 ブロッコリー 4個分で70g
 ピーマン 2個分で70g	 アスパラガス 3本分で70g	 にんじん 3cm分で70g

1日に野菜を350g食べよう！

あいり：例えば、きゅうりを1本食べた다고すると、70gの野菜を食べたことになりますね。

れんと：ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたら、何gの野菜を食べたと考えることができるのかな。

上の資料をもとにすると、ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたとき、何gの野菜を食べたと考えることができますか。
求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

全国全道と比較して課題のある設問。

左は示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する設問。正答率は50%（全国74.5%）。誤答50%の内41.7%は想定された誤答ではなく、問題の意図が理解できていないことがうかがえます。

右は分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する設問。3つの解答をする設問で誤答のほとんどは1つ又は2つは解答（正答）している。問題文が長く、1つ1つは解答できても文章で続けて問われると戸惑ってしまうことがうかがえます。国語の読み取りと合わせ、まずは文章をしっかりと読み取り、問われていることを理解することが必要です。

以前のような1問1答のような設問は、どの教科でも減り、様々な条件から必要なものを見つけたり利用したりする設問に変わってきています。授業の中でも場面をつくり、知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力を育成するための工夫・改善を行っていきます。

理科

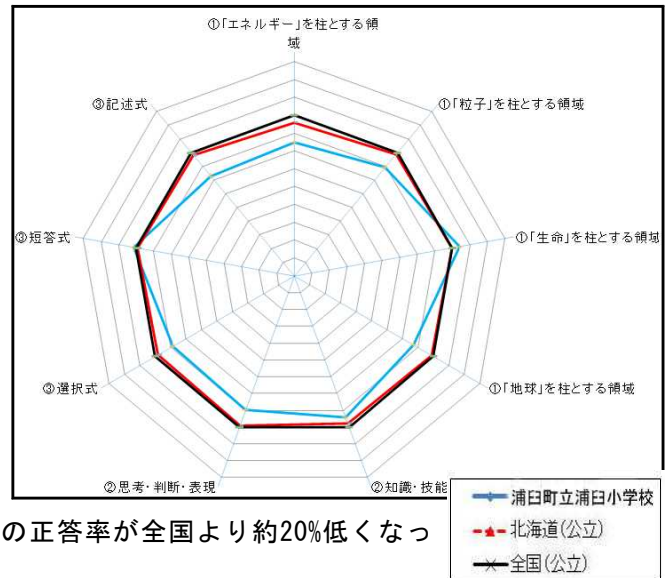
領域別では「生命」で全国・全道を上回り、その他は下回っています。特に「エネルギー」と「地球」を柱とする領域が低くなっている。

観点別では「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国・全道を下回っています。

問題形式では「短答式」で全国・全道を上回り、その他は下回っています。

設問別では「赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いを表現する」「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識」の正答率が高く、前者は全国より12.2%、後者は全国より19.9%高くなっています。一方で、「身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識」の正答率0%（全国10.6%）。「結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して表現する」「電流が作る磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識」の正答率が全国より約20%低くなっています。

理科では国語・算数以上に児童による定着状況の違いがみられ、それぞれが苦手とする領域が異なっていると思われる。想定外の誤答も多く、知識の定着を図った上で考察し、協働的な学びで考えを深めていきます。



全国全道と比較して課題のある設問。

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。

自分の剣を相手に当てたとき、かね（ベル）が鳴り、得点を知らせるようにしたいね。

これらの物を使ってつくることはできないかな。

電気を通す銅線、電磁石、クリップつき導線、あまった導線、かん電池、スイッチ、電気を通さない持ち手、電気を通す人形。

電気を通す銅線や磁石で引きつけられる板を、アルミニウム、鉄、銅のどれでつくろうかな。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

正答率0%。アルミニウムに3か4の解答をした児童が83.3%。

1 としやさんとあかりさんは、学校の花だんに入れた、赤玉土という土を見て、気づいたことを話しています。

赤玉土のようす

つぶの大きさに分けた赤玉土

大きいつぶ 約16mm, 中くらいのつぶ 約11mm, 小さいつぶ 約6mm

赤玉土のつぶの大きさは、いろいろあるね。

「水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによってちがいがあある」ということを学習したけれど、赤玉土でも同じなのかな。水がしみこむ時間で比べてみよう。

あかりさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがああるのだろうか。

あかりさんたちは【問題】を、大きいつぶと小さいつぶの赤玉土で確かめる【方法】について考えました。

【方法】

- ① どう明なプラスチックでできた2つの同じコップに次のことをする。
 - ・4つの穴を同じようにあける。
 - ・同じ高さの線を図のように引く。
 これらを穴あきのコップA、Bとする。
- ② 土をふるから取り出し、次のように入れる。
 - ・コップAは大きいつぶの赤玉土
 - ・コップBは小さいつぶの赤玉土
- ③ コップAに水をすばやく入れ、時間をはかり始め、水の面が同じ高さの線に下がるまでの時間をはかる。コップBも同じようにして時間をはかる。
- ④ 受け皿にたまった水、コップの土や水をすてて出し、②と③を全部で3回行う。

(3) 大きいつぶと小さいつぶを比べたときの【方法】と同じように、中くらいのつぶの赤玉土で実験すると、水がしみこむ時間はどれぐらいになると考えられますか。

【結果】をもとにして、【考えられる時間】を下の 1 から 3 までの中から 1 つ、【考えられる時間を選んだ理由】を下の 4 から 6 までの中から 1 つ、それぞれ選んで、その番号を書きましょう。

【考えられる時間】

- 1 3秒より短い
- 2 5秒から9秒までの間
- 3 11秒より長い

【考えられる時間を選んだ理由】

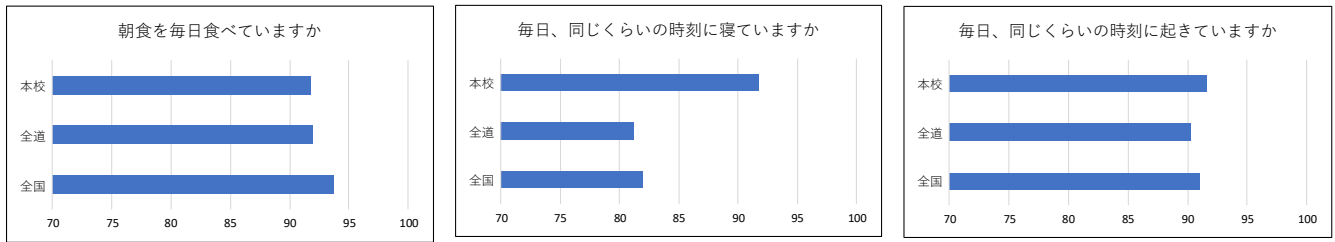
- 4 中くらいのつぶの赤玉土は、大きいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかからないから。
- 5 中くらいのつぶの赤玉土は、小さいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかかるから。
- 6 中くらいのつぶの赤玉土は、大きいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかかり、小さいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかからないから。

設問がとても複雑になっており、複数の条件や情報から解答が求められ、更に解答の理由を問う問題が増えていきます。これから子供達に求められる資質・能力についての教員研修を進めていきます。

2 生活習慣や学習習慣等に関する質問調査

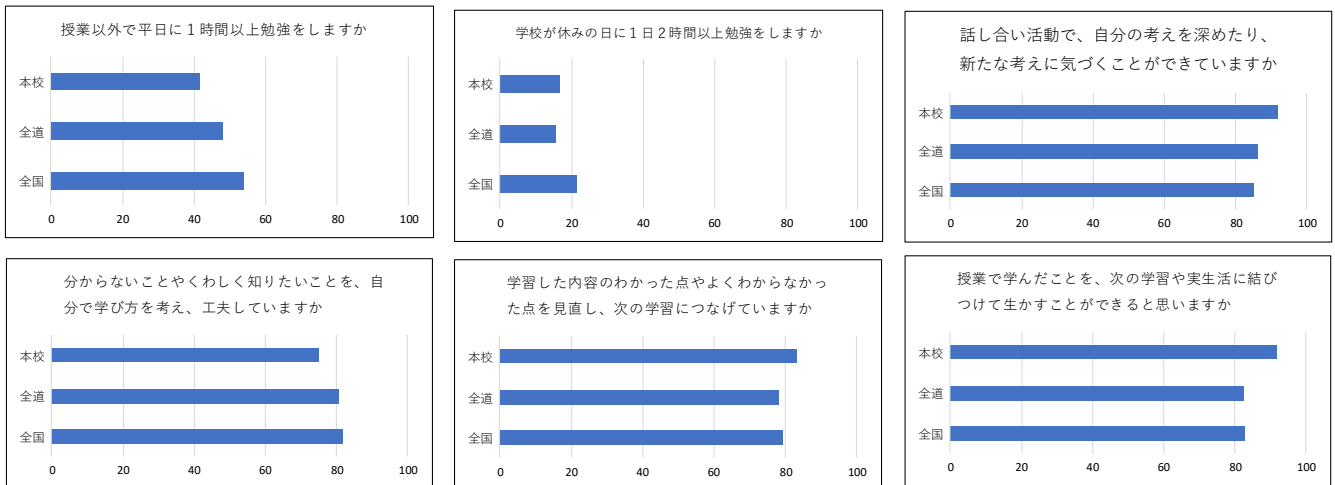
質問調査では「生活習慣等」「学習習慣等」「自己肯定感・規範意識等」の3つの観点から、各設問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の肯定的解答を合わせ、全国・全道と比較して本校の傾向を表しています。（時間を回答する設問は、望ましいと思われる時間を基準にしています。）

（1）生活習慣等について



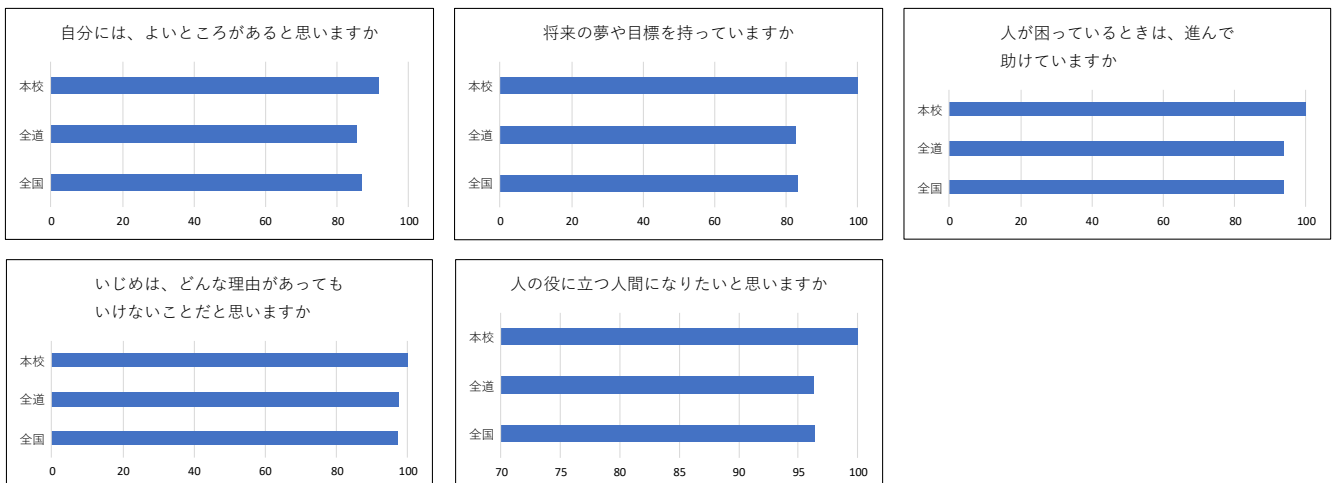
生活習慣については全国・全道と大きな違いはなく、概ね望ましい生活習慣が定着していると考えられます。いずれの項目も100%として、健康保持、学習への集中力向上を目指していきたいと考えます。

（2）学習習慣等について



傾向としては全国・全道と大きな違いはないと思われますが、家庭での学習時間が若干、短くなっています。話し合い活動や学びを次の学習につなげていくなど、学習に対する意欲は比較的高いと思われます。学習に対する意欲が家庭学習につながり、自ら学ぶ力が身につくよう、「学び方」を意識した授業改善を進めていきます。

（3）自己肯定感・規範意識等について



「自分には良いところがあると思う」91.7%、「将来の夢を持っている」「人が困っているとき進んで助ける」「いじめはどんなことがあってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」は100%。よりよい集団形成、集団での関わり方について望ましい意識を持っていることがうかがえます。

調査結果から見た傾向では課題以上に良い面がたくさんみえています。その良さから子どもの可能性を引き出し、これからの子供達に求められる力（資質・能力）を育成するため、全教職員が研修を重ね、学校全体で「子どもを主語」に、工夫・改善を進めていきます。



浦臼中学校だより

令和7年度 スローガン

Learn Together , Grow Together .

校訓
**創造
協働
剛健**

これからの人生、まだまだ可能性がある

校長 石川孝人

「生きていてくれてありがとう。」2か月ぶりに出勤した学校で出迎えてくれた生徒は、目にいっぱい涙を浮かべていました。あれから14年、自分はまだ生かされています。もしかしたら、サッカーのアディショナルタイムのように、終了のホイッスルは間もなく鳴られるのかもしれませんが。それでもその時まで全力で走り続けようと毎日を過ごしています。

2011年5月、体調不良のために内科や呼吸器科、耳鼻科、眼科など幾つかの病院を周りましたが、どこにも悪いところは見つかりませんでした。同僚のアドバイスもあって最後に訪れたのは脳神経外科でした。CT撮影後に、医師から告げられたのは「即入院、即手術」という言葉でした。まさに青天の霹靂。一刻を争うということで、すぐに入院を決意。病名は「**前頭蓋底髄膜腫**」。いわゆる脳腫瘍でした。良性とはいえ、さすがに開頭手術をしなくてはならないことには抵抗がなかったわけではありません。

6月21日、15時間に及ぶ手術の末、無事に脳腫瘍の摘出に成功。脳内で育った腫瘍は5.5cm、パークゴルフのボールぐらいの大きさでした。人間の体というのは、想像以上に丈夫なもので、7月上旬には退院。以前と変わらぬ生活ができるようになりました。ただし、元通りというわけには行かず、嗅神経を切除してしまったため、それ以来全く臭いのない世界で生きています。目が見えにくくなったり、口が開きにくくなったりしたのも後遺症と言えば後遺症なのかもしれません。

それから4年、何事もなく暮らしていましたが、2015年6月21日、自宅で突然倒れ、意識不明となりました。救急車で病院に運ばれ、「**症候性てんかん**」と診断されました。当時の入院診療計画書には「**痙攣、意識障害、嘔吐**」と書かれていました。激しく暴れるということで、麻酔薬のプロポフォールを投与され、4日間にわたって昏睡状態になりました。その後、転院をすることになりましたが、「**横紋筋融解症**」という病気を発症してしまいました。

「横紋筋融解症」とは、骨格筋細胞の壊死、融解により、筋細胞成分が血液中に流出した状態のこと。全身の筋肉が血液中に溶けてしまったことで、歩くこと、立ち続けること、座り続けること、寝ることも寝返りを打つことさえも不快感が伴いました。入院している際には気がつきませんでしたが、日常生活が送れるようになるには、長い時間を要することになりました。

そして2022年2月、人間ドックの際に心電図に異常が見られ、後日精密検査を受けたところ、医師から「**心筋梗塞**」の診断を受けました。同年5月に心臓カテーテル検査を行ったところ、冠動脈が閉塞し、心筋が虚血状態になり心臓全体のおよそ三分の一がすでに壊死してしまっているということです。心臓が壊死してしまったところは治療の余地はないそうです。心筋梗塞の死亡率が30~40%ということを考えれば、医師から「幸運だった」と言われたことも納得がいきます。激しい運動は医師から止められてしまいましたが、スポーツを観戦することで自分が運動している気になっています。

昨年(2024年)の自殺者数は20,320人、その中で小中高生の自殺者数は529人。月別で見ると9月が一番多いと言います。その中には、言い知れぬ不安や悩みを抱えて死を選択した人もいるのかもしれませんが、どのような事情があるにせよ、それを肯定するつもりはありません。一人で悩まず、まずは誰かと共有してみてもいいのではないでしょうか。

私自身は、決して健康な体とは言えませんが、それでも生きています。やりたいこともたくさんあります。自分が生きる意味を生きている間に見つけることができるのかも知れませんが、伝えられることはたくさんあるような気がします。



ハイライト「Positivity」学校祭 9月6日 浦臼中学校体育館

最大行事である学校祭を実施しました。生徒会執行部の生徒を中心に企画・運営し、当日は全校生徒が練習を積み重ねた発表や、授業で制作した作品展示を行いました。保護者や卒業生、地域の方々にも参観していただき温かい応援を多数いただきましたことに感謝申し上げます。今年は縦割りグループでの活動に取り組んだ結果、生徒達はチームワークやリーダーシップ、自分の可能性に気付くことができました。この経験を糧に今後の学校生活が一層充実することを期待しています



そして次代へ 学校祭反省 9月9日

学校祭明け、全校で縦割りグループごとに学校祭を振り返りました。各取組の成果や改善点をまとめ、交流し合いました。次回学校祭の充実に向けて真剣な意見交換がされるとともに、1、2年生が次の生徒会を担う自覚をもつ有意義な機会になりました。各グループをまとめた3年生のみなさん、お疲れ様でした。

PTA厚生部交通安全指導

保護者と教職員で秋の交通安全週間に合わせて9月24日（水）～29日（月）の朝の登校時間に交通安全指導を行いました。徒歩や自転車で登校する子どもたちに安全な登校に向けた声かけをしていただきました。お忙しい中ご参加いただいたPTA会員の皆様ありがとうございます。



ソフトテニス大会での活躍

2年生の三宮彩華さんが次の大会で優秀な成績を収められました。今後ますますの活躍を期待します。

8月24日 第44回北海道新聞杯ソフトテニス大会（ダブルス） 女子A組優勝

8月30日 第4回スターカップシングルス ソフトテニス選手権大会（シングルス） 女子スターの部第1位

王子江先生の水墨画教室

9月17日（水）に王子江先生の水墨画教室を行いました。先生は、水墨画の歴史や、筆の使い方、墨の濃淡の表現方法など、詳しく指導してくださいました。生徒たちは、先生の指導のもと、自分たちの作品を作っていました。先生は、生徒たちの作品を鑑賞し、上手に描けているところを褒めてくださいました。生徒たちは、先生の指導をありがたそうに受け止めていました。



3年学力テスト

学校祭が終了して間もない9月10日（水）に3年生にとって進路決定の際に大変重要になる学力テスト（総合A）が実施されました。各生徒は試験後に返却された解答から今後に向けた課題の整理もしているようです。いよいよ進路実現に向けた取組が本格的にスタートしますが、それぞれの希望進路が実現するよう学校としても精一杯支援していきます。

【10・11月の主な行事予定】

～10月～		～11月～	
1日（水）	衣替え、QU検査、SB冬便開始	24日（金）	生徒総会議案審議
2日（木）	2年札幌PR活動	29日（水）	こども園実習（3年）
3日（金）	1年職場体験	30日（木）	生徒総会
6日（月）	生徒会役員選挙・開票	31日（金）	避難訓練、防災学校
8日（水）	学力テスト（総合B）		
9日（木）	英検IBA、スクールカウンセラー来校	3日（月）	文化の日
10日（金）	前期終業式	6日（木）	全学年学力テスト（総合C）
13日（月）	スポーツの日		専門・評議委員会
14日（火）	後期始業式、認証式、専門・評議委員会	7日（金）	教育相談（～14日）
15日（水）	1年視力検査	17日（月）	全校集会、職員会議
16日（木）	2年視力検査	18日（火）	テスト前部活動停止（～20日）
17日（金）	3年視力検査	21日（金）	後期テスト
20日（月）	職員会議、読書週間（～24日）	23日（日）	勤労感謝の日
23日（木）	スクールカウンセラー来校	24日（月）	振替休日
		28日（金）	3年三者懇談（～12/4）

・10月からは冬服着用となり、部活動後のスクールバス時間が17：00となります。